

身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から

展覧会の概要

アーツ前橋では、地域ゆかりの作家をはじめ、館の活動に関連のある作家たちの作品を継続的に収蔵しています。平成 30 年度は、9 作家 32 作品を新たに収蔵いたしました。

本展では、「身体と記憶」という切り口から、収蔵作品を紹介します。私たちの身体は「いま」という時間を生きていながらも、過去の記憶の集合体として存在しているはずですが、石内都の〈ひろしま〉シリーズは、広島平和記念資料館に現在まで届けられる被爆者の遺品をモチーフにしています。被爆した人が身につけていたであろうワンピースや靴を通じて、戦争を生き延びた女性たちの生を感じさせます。また、小野田賢三は前橋ゆかりの音楽家・井上武士の代表作『うみ』を題材に、新しい鑑賞体験を提案します。誰しもが子どもの頃に耳にし、ロズさんだ童謡は、私たちの身体の一部となって記憶されているのではないのでしょうか。

歴史という大きな時間の流れと個人の記憶は、個々の身体を通じて交差し、過去・現在・未来へと蓄積されていきます。美術作品は、様々な人間の生の軌跡の交差点のようなものです。ぜひそれぞれの作品をあなたの身体を通じて呼吸し、味わい、楽しんでいただきたいと思います。

□会期：2019 年 4 月 19 日（金）～7 月 9 日（火）

□開館時間：10:00～18:00（入場は 17:30 まで）

□休館日：水曜日

□会場：アーツ前橋ギャラリー 1

□観覧料：無料

□主催：アーツ前橋

□出品点数：20 点程度

□出品作家：石内都、小野田賢三、片山真理、平野薫、三輪途道など

□印刷物：Web による告知のみ

□関連イベント：学芸員によるギャラリートーク：6 月 15 日（土）14:00～14:30

□主な出品作品：石内都〈ひろしま〉シリーズ 2007 年～2014 年、片山真理《you're mine》2014 年、平野薫《untitled-jacket-》2008 年、小野田賢三《聞こえる？》2013 年など



やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年4月19日(金)～6月23日(日)

Friday, 19 April – Sunday, 23 June 2019

開館時間: 10:00～18:00 (入場は17:30まで) *4月から開館時間を変更しました
5/17(金)、18(土)はパフォーマンス開催のため17:00に閉場

休館日: 水曜日 *5/1(水・祝)は開館、5/7(火)を閉館

観覧料: 一般 600円 学生・65歳以上・団体(10名以上) 400円 高校生以下無料
5/12(日)は母の日のため入場無料 / 障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料 /
『MM』セット割: パフォーマンスチケットと同時購入された方は400円

主催: アーツ前橋、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛: ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、JAふくしま未来、JAグループ福島
協力: 京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学 ROBOCON挑戦プロジェクト、香川高等専門学校、
群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、一色事務所、堀内カラ
後援: 上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所
企画協力: 一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE

お問い合わせ: アーツ前橋(群馬県前橋市千代田町5-1-16) TEL:027-230-1144 <http://artsmaebashi.jp/>

【写真】《女神と男神が桃の木の下で別れる》川中島(部分)2016年 作家蔵



やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年4月19日(金)～6月23日(日)

Friday, 19 April – Sunday, 23 June 2019

1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも忘れられない作品を発表してきた美術家やなぎみわ(1967～)。〈エレベーター・ガール〉で最初に注目を浴び、〈マイ・グランドマザーズ〉や〈フェアリー・テール〉といった一連の写真作品で世界的に評価を受け、2009年には第53回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表となる一方、翌2010年には本格的に演劇プロジェクトを始めます。大正期の日本を舞台に、新興芸術運動の揺籃を描いた「1924」三部作で話題を集め、特に2014年台湾で製造したステージ・トレーラーを母体に2016年から日本各地を巡礼する野外劇は大きな感動を与えました。その舞台作品と並行し、日本神話をモチーフに桃を撮影した新作シリーズを制作しており、今回、日本で初めて発表します。また本展に向け、京都、高松、前橋、福島の大学等と連携した「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がり、マシンによる神話世界も展覧会場に生み出されます。

美術と舞台の両極を往還することで生まれるやなぎ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していくものです。待望された10年ぶりの本個展では、これまで以上にやなぎの汲み尽くせぬ創造の泉に迫ります。

[関連イベント] お問い合わせ・お申込みはアーツ前橋(tel.027-230-1144)まで
詳細はアーツ前橋の公式サイトをご確認ください。無料イベントの場合も、展覧会観覧券が必要です。

ライブパフォーマンス『MM』 ※本プロジェクトは、JSPS科研費 JP17H00910に関連する作品です。
構成・演出:やなぎみわ 出演:高山のえみ 音楽:内橋和久

5月17日(金)・18日(土) 19:30開演(19:00受付)/アーツ前橋地下ギャラリー/各回先着70名/参加費1,500円(3/15より総合案内にて予約販売・電話予約可)/上演時間1時間程度/5月17日(金)終演後にアフタートークあり/未就学児童のご入場はご遠慮ください。

やなぎみわ講演会

5月19日(日) 14:00～15:30 /アーツ前橋スタジオ/先着40名/要電話申込/無料

ロボット教室

5月11日(土) 14:00～16:30/アーツ前橋スタジオ/対象:小学生以下(未就学児は保護者同伴)
/要電話申込/先着30名/無料/モバイル・シアター・プロジェクトのマシン製作に協力した群馬工業高等専門学校の、NHK高専ロボコン全国大会に出場したロボット展示や操縦体験を行います。

ギャラリートーク

5月12日(日)、6月1日(土) 14:00～15:00 /申込不要、当日会場へ/無料

おしゃべりアートデイズ

6月3日(月)～6月9日(日) 14:00～14:30(土日は11:15～11:45)/要電話申込/無料/
作品をじっくり鑑賞して感じたことを自由に語り合うプログラムです。

同時開催: 身体と記憶 アーツ前橋作品から
2019年4月19日(金)～7月9日(火) アーツ前橋 ギャラリー1 入場無料

展覧会案内: 萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち前橋文学館
「現代詩手帖」展 2019年4月30日(火)～6月30日(日) tel. 027-235-8011

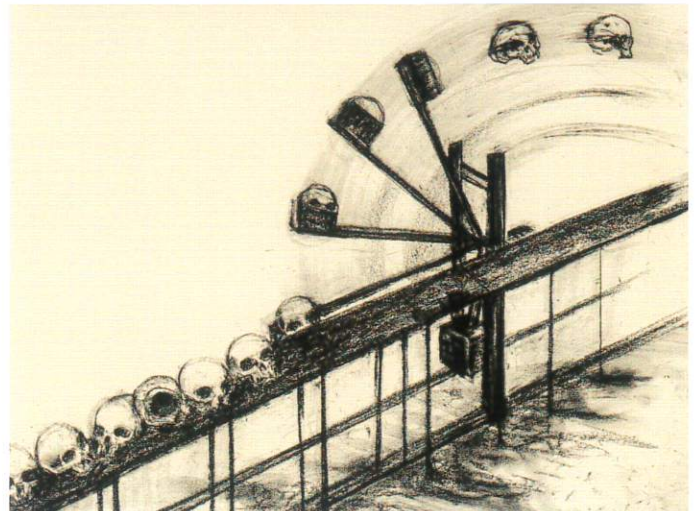
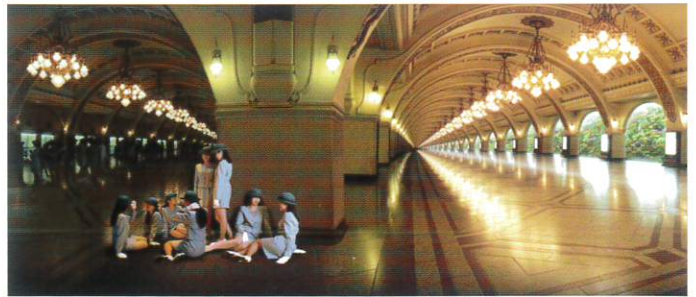


■マークの駐車場のご利用に際しては、駐車券に割引処理いたします。

[公共交通機関] JR前橋駅から徒歩約10分/上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分
[自動車] 関越自動車道 前橋ICから車で約15分

By Train: About 10 minutes on foot from JR Maebashi station.

By Car: About 15 minutes by car from the Maebashi Interchange on the Kan-etsu Expressway.



【図版・上、左から】

〈次の箱を探してI〉(部分) 1996年 高松市美術館蔵

〈My Grandmothers: MINEKO〉(部分) 2002年 高松市美術館蔵

〈Untitled II〉2004年 作家蔵

〈XXS-XXXL〉2010年 株式会社資生堂蔵 撮影:山本糾

〈桃を投げる〉2018年 作家蔵

〈神話機械・スケッチ〉2018年 作家蔵

ライブパフォーマンス“MM”

2019年5月17日(金)、18日(土)

19:30開演(19:00受付)

構成・演出: やなぎみわ

出演: 高山のえみ 音楽: 内橋和久

会場: アーツ前橋 地下ギャラリー

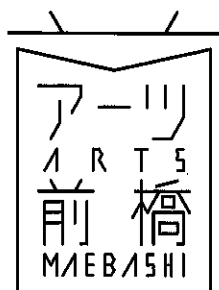
定員: 各回先着70名(要予約)

参加費: 1,500円(3月15日(金)より総合案内にて予約販売/電話予約可)

MM



機械仕掛けの「神話」上演!
美術×機械工学×舞台芸術が
クロスオーバーする実験作!



ライブパフォーマンス“MM”

2019年5月17日(金)、18日(土)
19:30開演(19:00受付)

構成・演出：やなぎみわ

出演：高山のえみ 音楽：内橋和久

会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

定員：各回先着70名(要予約)

参加費：1,500円

(3/15(金)より総合案内にて予約販売・電話予約可)

お問合せ・お申込み：

アーツ前橋 027-230-1144

*上演時間は1時間程度

*5月17日(金)終演後にアフタートークあり

*未就学児の入場はご遠慮ください

マシン製作：

京都工芸繊維大学 ROBOCON挑戦プロジェクト

香川高等専門学校 機械電子工学科 逸見研究室

群馬工業高等専門学校 機械工学科 ロボット工学研究室

福島県立福島工業高等学校

協力：

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター・ウルトラファクトリー

※本プロジェクトはJSPS科研費 JP17H00910に関連する作品です。

提携：TMP 多和田葉子／ハイナー・ミュラー・プロジェクト

作品引用：ハイナー・ミュラー

『ハムレットマシーン』(岩淵達治 谷川道子・訳 | 未来社)

『メディアマテリアル』(岩淵達治 越部運 谷川道子・訳 | 未来社)

舞台監督：黒飛忠紀(幸せ工務店)

音響：高田文暉(ソルサウンドサービス)

メインマシン照明デザイン：藤本隆行(Kinsai R&D)

機装造形：吾郷泰英

宣伝美術：木村三晴

制作：清水幸代(LANDSCAPE)



「墓掘り人たちが歌いながら墓を掘っているぞ…。
あの骸骨にも舌があったはずだ。歌もうたえただろう。
それを墓掘りは、事もなげに地面に叩きつけている！」

おやおや、またどこかでハムレット劇が始まった。
大地を掘りつつ歌い語れば、人は真実を思い出す。
しっかり掘って、もっと語りなさい。沈黙してはなりません。
この痴愚女神がせせせと忘却の泥を捏ね、
骸骨を作ってあげましょう。

やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年4月19日(金)～6月23日(日)

Friday, 19 April - Sunday, 23 June 2019

開館時間：10:00～18:00(入場は17:30まで)

*4月から開館時間を変更しました

5/17(金)、18(土)はパフォーマンス開催のため17:00に閉館

休館日：水曜日 *5/1(水・祝)は開館、5/7(火)を閉館

観覧料：一般 600円

学生・65歳以上・団体(10名以上) 400円

高校生以下無料

5/12(日)は母の日のため入場無料

障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料

『MM』セット割：パフォーマンスチケットと同時に購入された方は400円

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

〒371-0022

群馬県前橋市千代田町5-1-16

tel: 027-230-1144

fax: 027-232-2016

http://artsmaebashi.jp

5-1-16, Chiyodamachi

Maebashi Gunma 371-0022



図マークの駐車場のご利用には、駐車券に割引処理いたします。

[公共交通機関] JR前橋駅から徒歩約10分/上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分
[自動車] 関越自動車道 前橋ICから車で約15分

By Train: About 10 minutes on foot from JR Maebashi station.

By Car: About 15 minutes by car from the Maebashi Interchange on the Kan-etsu Expressway.

身体の芸術
推進実行
委員会

前橋身体論2早春ゼミナール

春と呼ぶには少し早い季節、わたしたち「身体の芸術推進実行委員会」はこの街でアーツ前橋の「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s・2010s」展に連動して、新しいスタイルの学びの演劇を上演します。

「学びと身体を民主化しよう」

わたしたちの社会では今、価値観、労働、性、人権などにかつてない多様化が進み、これまでのやり方ではうまくいかないことがたくさんあります。学びもそのひとつです。学校に限らず社会における学びのあり方を解放すること。それをわたしたちは「学びの民主化」と呼び、これを表現する方法として「様々な身体表現を学ぶ演劇」を考えました。それが『前橋身体論早春ゼミナール2019』です。音楽、ダンス、演劇、朗読、パフォーマンス。からだを使って芸術表現するとき、わたしたちは手法の先でからだを解放された自由を感じています。圧政の中で木版画が持たざるものたちの抵抗の術になったこと。そこに荒々しくも繊細に木版を刻み込む「手つき」を想像せずにはいられません。わたしたちの身体もまた、個別で不器用なからだを外の世界へ解き放ちます。それを「身体の民主化」と呼ぶなら『前橋身体論早春ゼミナール2019』は学びと身体を同時に民主化します。



「レクチャー」で獲得し「ゼミナール」で身体化し「フォーラム」で分かち合う学びのときはなち

このカリキュラムはアーツ前橋の「闇に刻む光」展から学ぶ研修型講座の「レクチャー」、そしてそこから講師陣それぞれの専門クラスに分かれて学ぶ演習型講座の「ゼミナール」の二段階構成です。卒業式はありませんが展覧会の会期末近くには「フォーラム」を開催し、みんなで学びを振り返り分かち合います。ここには従来の演劇という脚本や劇場は存在しません。演劇はフィクションの中で真実を伝えることができるという概念だけがあるのです。

レクチャー

「レクチャー」から始まる獲得する学び
「闇に刻む光」展は木版画が美術の世界を超えてアジアの政治・社会運動の中で重要な役割を果たしたことをとりあげていますが、この展覧会をより深く理解するために「レクチャー」をプログラムしました。展覧会の意図をキュレーターから直接聞く「黒田雷児オープニング・トーク」、展示された木版画作品に描かれた事件を扱った映画の鑑賞会、そして実際に木版画を制作するワークショップなど、楽しみながら知る、理解する、感じるためのレクチャーです。

レクチャー01

オープニング・トーク
アジア近代美術の伏流
—抵抗と解放の木版画運動

各時代・地域の出来事に反応する「民衆芸術」としての木版画の魅力と、印刷物など多様な手段による情報発信力に注目して、絵画や展覧会からは見えてこない近現代美術史の新しい見方を提案します。

日時：2月2日(土)14:00~16:00

講師：黒田雷児
(福岡アジア美術館運営部長)

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：40名(要事前申込み)

参加費：無料

※こちらはアーツ前橋のイベントになります。要事前申込みですのでアーツ前橋までお電話ください。
(アーツ前橋 027-230-1144)

レクチャー02

アーツ前橋
学芸員によるギャラリーツアー

日時：2月9日(土)13:00~14:00
会場：アーツ前橋 地下ギャラリー
参加費：無料(要観覧料)事前申込み不要
集合：アーツ前橋総合案内前

※こちらはアーツ前橋「闇に刻む光」展の関連イベントになります。

木版画ワークショップ
「ホレホレホレ”スレ”」

レクチャー03

日時：2月11日(月・祝)
13:00~16:00

講師：佐野広章
(桐生大学アートデザイン学科講師)

会場：アーツ前橋 スタジオ

参加費：1000円

版画制作アーティスト佐野広章さんの指導で実際に木版画を彫って刷るワークショップ。
※裏面の募集要項を参照の上ご応募ください。

ゼミナール

「ゼミナール」は身体化する学び
「ゼミナール」はこの学びの中心です。知識はただ頭で知るだけでは身になりません。ゼミナールはレクチャーで獲得した知識を表現行為や活動へと解き放つことで身体化し定着させ、さらに活用するプログラムです。各担当講師役がレクチャーへの応答としてその専門性を発揮、各ゼミに分かれて協働でわいわい作品制作をしたり対話を重ねて表現に関わる活動を授業として展開します。講師役は前橋周辺から集まった身体表現の専門家集団、身体の芸術推進実行委員会の委員がつとめます。リーディング公演、ダンス、音楽、パフォーマンスなどバラエティにとんだユニークな身体表現の授業から選べます。

岡庭ゼミ

「KING OF OPUS feat 石坂亥士 ライブパフォーマンス」

「闇に刻む光」展にインスパイアされて「KING OF OPUS feat 石坂亥士 ライブパフォーマンス」を開催します。KING OF OPUSのエレクトリック・エキゾ・ダブという唯一無二の音楽ジャンルに石坂亥士による世界各国の楽器演奏が加わり、類い稀なる演奏が披露されます。

日時：2月24日(日)13:30~14:30

会場：アーツ前橋 ギャラリー2

参加費：無料(要展覧会観覧料)

群馬を拠点に活動するDJ/オーガナイザー。生粋なダンスパーティーからカッティングエッジな企画を多数開催。アーツ前橋では音楽イベントのコーディネーターを務めた。

講師 岡庭涼



山賀ゼミ 「ざわつく身体を探る◎版画作品鑑賞+ダンスワークショップ」

今にも動き出しそうな強度のある人物描写。今回の版画展の作品群はダンスの宝庫です。版画に刻まれた表情や姿から発せられるメッセージを読み取り、身体の動きに移し替えてみます。まずはギャラリーで作品を皆で対話しながら鑑賞。その後隣接する中央公民館のスタジオで、版画の人物のポーズや表情を真似するところからダンスの生成を試みます。

日時：2月23日(土)・3月17日(日)13:00~16:30
会場：アーツ前橋 地下ギャラリー・中央公民館 スタジオ
対象：高校生以上
定員：各回10名程度(両日の参加可能)
参加費：無料(要展覧会観覧料)



講師 山賀ざくろ

ダンスを踊り、たまに歌手、俳優。そのいい具合に力の抜けたダンスは、老若男女、世代を問わず魅了する。「アバンギャルズ」「おとな遊戯」などの企画をプロデュース。



レクチャー04

映画「タクシー運転手」と「闇に刻む光」展鑑賞ツアー&感想会

日時：2月16日(土)10:00~14:00
ファシリテーター：小出和彦
(劇作家・演出家・ワークショップデザイナー)
会場：前橋シネマハウス、アーツ前橋
定員：20名
参加費：1300円(映画鑑賞券、展覧会観覧料含む)

映画「タクシー運転手 約束は海を越えて」は1980年韓国で起こった光州事件を扱った映画です。「闇に刻む光」展ではその歴史的な事件をテーマにホン・ソングムが製作した版画の展示も見られます。ツアー後は感想会で楽しく語り合います。
※裏面の募集要項を参照の上ご応募ください。

レクチャー05

映画「1987、ある闘いの真実」と「闇に刻む光」展鑑賞ツアー&感想会

日時：3月3日(日)13:25~17:30
ファシリテーター：小出和彦
(劇作家・演出家・ワークショップデザイナー)
会場：前橋シネマハウス、アーツ前橋
定員：20名
参加費：1300円(映画鑑賞券、展覧会観覧料含む)

映画「1987、ある闘いの真実」は1987年ソウル大学の学生が拷問致死した事件をきっかけに韓国全土で民主化闘争へと発展した出来事を描いた映画です。「闇に刻む光」展とともに民主化のために闘った人々の想いに触れる試み。ツアー後の感想会でも語り合います。
※裏面の募集要項を参照の上ご応募ください。

レクチャー06

アーツ前橋
学芸員によるギャラリーツアー

日時：3月10日(日)13:00~14:00
会場：アーツ前橋 地下ギャラリー
参加費：無料(要観覧料)事前申込み不要
集合：アーツ前橋総合案内前

※こちらはアーツ前橋「闇に刻む光」展の関連イベントになります。

村田ゼミ「検閲しようよ」

「闇に刻む光」展のテーマ「木版画によるアジアの民主化運動」をきっかけに光州事件について勉強しました。悲惨な事件を知ると共に「検閲」という行為がよくわかりませんでした。ゼミで検閲についての知識を高めます。今回は実際に検閲のルールを決め行う側に立ってみようと思います。それによって何が起きるのかを皆様と共有できれば幸いです。毒をもって毒を制しましょう。

検閲会議
日時：2月9日(土)15:00~18:00
会場：アーツ前橋 スタジオ
参加費：無料



村田峰紀
講師

アーティスト、パフォーマー。
1979年群馬県生まれ・前橋市在住。
原始的な身体所作で強いインパクトを与えるパフォーマンスやその結果として生み出されるインスタレーション、ドローイングを発表している。

撮影：若林勇人

中村ゼミ「戯曲で学ぶアフガニスタンとリーディング公演『修復不能』」

ゼロから学び合うアフガニスタン! 「闇に刻む光」展のテーマ「木版画によるアジアの民主化運動」に連動しつつ、知らせづらい、広がりづらい、悲惨な体験や思い(10のエピソード)を「言葉」で伝えようとする「紛争地域から生まれた演劇」を声に出して読みながら、学びます。3月16日の出演者は、参加者のみなさんと相談しながら決めていく予定です。受付や会場係等としても積極的にご参加下さい。

「修復不能」アフガニスタン人権民主主義連盟(AHRDO)によるドキュメンタリー演劇/2010年初演(アフガニスタン) / 日本でのリーディング初演: 2013年12月 国際演劇協会(ITI) 日本センター主催「紛争地域から生まれた演劇シリーズ5」

勉強会&戯曲読み合わせ(全5回)
日時：2月10日(日)・17日(日)・24日(日)・3月3日(日)・10日(日) 11:00~13:30 ※2月17日のみ13:30~17:00
会場：アーツ前橋 スタジオ ※2月17日のみ中央公民館 406スタジオ
定員：30名(1回のみ参加可能)
※岩波新書『アフガニスタン 戦乱の現代史』を購入の上参加ください。
参加費：1回300円(あるいは通しチケット1000円)

公開リハ
日時：3月15日(金)18:00~21:00
会場：前橋文学館 3階ホール
参加費：300円(あるいは通しチケット1000円)

リーディング公演&ラウンドテーブル(全2回)
日時：3月16日(土)11:00~13:00・17:00~19:00
会場：前橋文学館 3階ホール
参加費：通しチケット1000円

企画協力：(公社)国際演劇協会日本センター

演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ主宰。演出・役者。東京出身・前橋在住。自主公演並びに近年は前橋文学館リーディング・シアター上演等に携わる。群馬県立県民健康科学大学並びに群馬大学非常勤講師。



講師
中村ひろみ

「フォーラム」はわかちあう学び

最後の学び「フォーラム」はまさに声のアリーナ、参加した全員が一同に会し言葉を交わす即興演劇のような学びになるでしょう。互いの作品や体験を振り返りながら新しい人や表現との出会いの場面。そのころには語るべきダイアログは既に心にたくさん刻まれているはず。この演劇はここまでです。続きは...

日時：3月21日14:00~16:00
会場：アーツ前橋 スタジオ
参加費：無料

カリキュラム一覧

2月 2日 日	14:00~16:00	レクチャー01「オープニング・トーク アジア近代美術の伏流 -抵抗と解放の木版画運動」★
2月 9日 土	13:00~14:00 15:00~18:00	レクチャー02「学芸員によるギャラリートツアー①」★ 村田ゼミ「検閲会議」
2月10日 日	11:00~13:30	中村ゼミ①勉強会+読み合わせ
2月11日 月・祝日	13:00~16:00	レクチャー03「木版画ワークショップ ホレホレホレ”スレ”」
2月16日 土	10:00~14:00	レクチャー04「映画『タクシー運転手』と『闇に刻む光』展鑑賞ツアー&感想会」
2月17日 日	13:30~17:00	中村ゼミ②「闇に刻む光」展鑑賞(13:30~14:30) 勉強会+読み合わせ(14:30~17:00)
2月23日 土	13:00~16:30	山賀ゼミ①「闇に刻む光」展鑑賞(13:00~14:00) ダンス(14:30~16:30)
2月24日 日	11:00~13:30 13:30~14:30	中村ゼミ③勉強会+読み合わせ 岡庭ゼミ①特別公演『KING OF OPUS feat 石坂玄士 ライブパフォーマンス』
3月 3日 日	11:00~13:30 13:25~17:30	中村ゼミ④勉強会+読み合わせ レクチャー05「映画『1987、ある闘いの真実』と『闇に刻む光』展鑑賞ツアー&感想会」
3月10日 日	11:00~13:30 13:00~14:00	中村ゼミ⑤勉強会+読み合わせ レクチャー06「学芸員によるギャラリートツアー②」★
3月15日 金	18:00~21:00	中村ゼミ⑥上演の公開練習・リハーサル
3月16日 土	11:00~13:00 /17:00~19:00	中村ゼミ⑦『修復不能』リーディング上演&ラウンドテーブル
3月17日 日	13:00~16:30	山賀ゼミ②「闇に刻む光」展鑑賞(13:00~14:00) ダンス(14:30~16:30)
3月21日 木・祝日	14:00~16:00	フォーラム

★はアーツ前橋「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」展関連イベントです。

アーツ前橋 群馬県前橋市千代田町5丁目1-16
前橋市中央公民館 群馬県前橋市本町2丁目12-1
前橋文学館 群馬県前橋市千代田町3丁目12-10



レクチャー/ゼミナール/フォーラム 募集要項

随時申込可。各講座の締切は前日。

受講を希望する方は、件名に「受講希望」と入れた上、メールで下記事項をお送りください。実行委員会からの返信をもって申込み完了となります。定員オーバーの場合も返信いたします。複数講座に申込みの場合は1メール1講座で申込み下さい。

希望講座名(レクチャー・ゼミ)・氏名・年齢・電話番号

講座によっては、詳細な日時や会場、内容は返信メールでの情報提供となります。

メールアドレス：shintai2018@gmail.com



『前橋身体論 早春ゼミナール2019』
Facebookイベントページ

前橋身体論 早春ゼミナール2019 開催概要

期間 2019年2月2日(土) ~ 3月21日(木・祝)

会場 アーツ前橋・前橋市中央公民館・その他

主催 身体の芸術推進実行委員会

共催 アーツ前橋

構成・演出 小出和彦

出演者・スタッフ

岡庭涼、小出和彦、坂川善樹、

住友文彦、中村ひろみ、村田峰紀、

山賀さくろ、山本千愛、阪中隆文、

新井隆人

広報デザイン 荒木聡志(灰ホトラ)

協賛 アサカタクシー

合同会社 前橋文化計画

協力 前橋シネマハウス

マエバシユレー

